

使用済み切手 活用して

岐阜信金、県社協に贈る

岐阜信用金庫（岐阜市神田町）は、職員や顧客による収集ボランティア活動で集めた使用済み切手やベルマークなどを県社会福祉協



小林政人常務理事に目録を手渡す光崎修常務理事、事業戦略部長（右）＝岐阜市下奈良、県社会福祉協議会

3万2532枚、ベルマーク3312枚、使用済みプリペイドカード86枚、書き損じはがき22枚を集めた。同協議会で寄贈式があり、同金庫の光崎修常務理事、事業戦略部長が「社会福

祉に役立ててほしい」と語りながら、同協議会の小林政人常務理事に目録を手渡した。

切手などは換金し、「ボランティア活動振興基金助成事業」の財源に活用するほか、ベルマークは収集活動する県内の学校に寄贈される。（富樫一平）